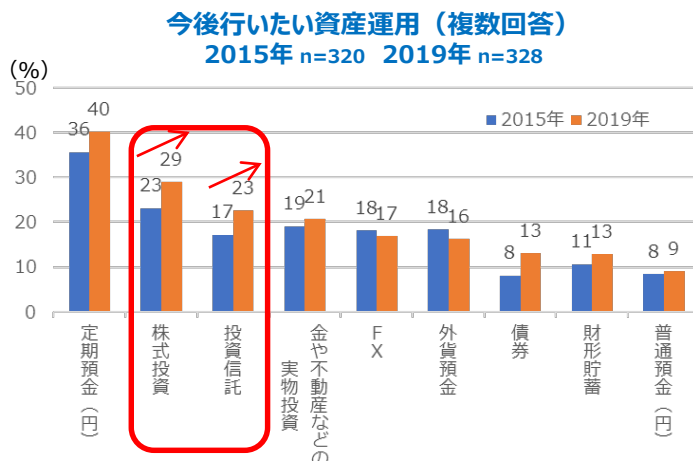
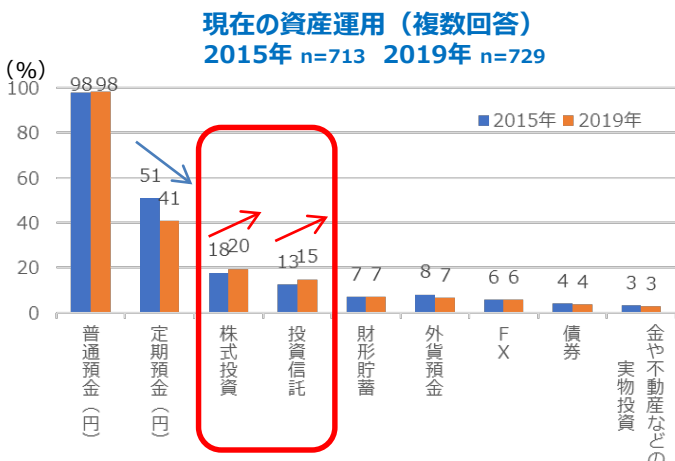
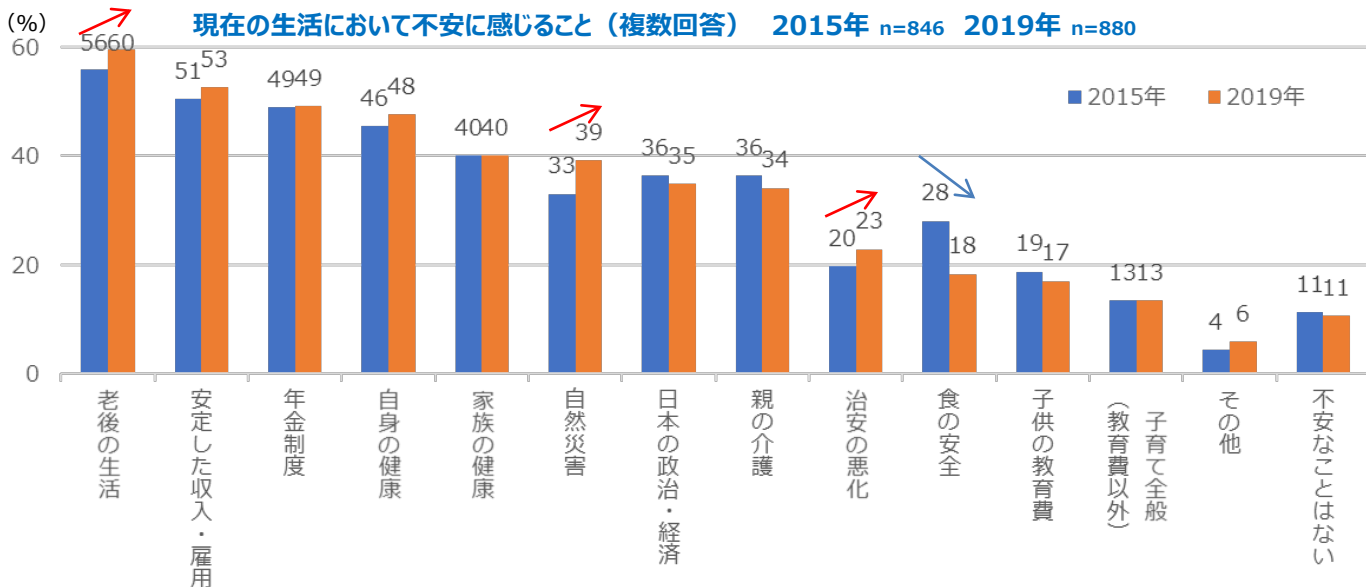


生活の不安と金融資産・投資 2015年と2019年の比較

株式会社レアソンでは2015年に「生活の不安」とその不安への対処法としての「金融資産・投資」に関するアンケートを行いました。約4年経過した今、生活者が感じる不安と金融資産・投資に関する考え方がどのように変化をしたのかを調査しました。

2019年の生活者が感じる不安の中身は1位「老後の生活」、2位「安定した収入・雇用」、3位「年金制度」という順番になり、TOP3は2015年から変わりはないものの「老後の生活」はより不安が増している傾向があるようです。その他「自然災害」「治安の悪化」が4年前よりも不安が増えています。一方「食の安全」に関する不安は4年前より大幅に改善されています。



資産運用では、4年前と比較して定期預金の利用が10%下がり、株式投資や投資信託の利用者が増えており、近年の低金利政策が影響していると考えられます。

今後行いたい資産運用では引き続き定期預金が一番人気であるものの、株式投資や投資信託への関心が4年前より高まっています。

保険に加入する際の重視点として上位3つの「保険料が安い」「保障が充実」「対応力」は4年前から変動がありませんが、「周囲やネットでの評判の良さ」が保険の選択ポイントとしての重視度が増しています。また40-59歳では「手軽に加入できる」の重視度も上がっています。

保険加入時の重視ポイント（複数回答；上位抜粋）

2015年		2019年	
20~39歳	40~59歳	20~39歳	40~59歳
保険料が安い	1位	保険料が安い	1位
保障が充実	2位	保障が充実	2位
いざという時の対応力がある	3位	いざという時の対応力がある	3位
信頼できる外交員・ライフプランナーがいる	4位	周囲やネットでの評判が良い	手軽に加入できる
保険会社の知名度が高い	5位	信頼できる外交員・LPがいる	保険会社の知名度が高い
周囲やネットでの評判が良い	6位	保険会社の知名度が高い	周囲やネットでの評判が良い
手軽に加入できる			

* 2015年20-39歳の5位と6位は同率

【調査概要】

調査期間： ①2015年1月 ②2019年8月
 調査対象・期間： 20歳～59歳の一般生活者（男女） ①2015年1月：846サンプル ②2019年8月：880サンプル
 調査地域・手法： 全国の消費者モニターがインターネットアンケートに回答